

# 令和7年度 第3回 都筑区地域福祉保健計画推進委員会 議事録

日時：令和7年11月28日（金）

午前10時から12時まで

場所：都筑区役所 6階大会議室

出席者：別途名簿の通り

## 【開会】（進行：福祉保健課長）

- ・区長あいさつ

## 【報告事項】（進行：名和田委員）

### 1 「つづき あい基金」について 資料1

資料1に基づき、事務局より説明。

後期は2件（山田地区、勝田茅ヶ崎地区）申請あり。山田地区は広報紙の発行、勝田茅ヶ崎地区はホームページ作成。12月23日に審査会を予定している。

<質疑応答>

特になし。

### 2 第5期都筑区地域福祉保健計画 地区別計画進捗について 資料2

資料2に基づき、事務局より説明。東山田地区の地区別計画1校をプロジェクターで投影。

- ・地区名の下にキャッチフレーズや目標を載せている、地図面に一覧を掲載しない地区もある。
- ・本日中に全地区の1校目が届く予定。
- ・社会福祉大会終了後に完成報告会を開催する。（詳細はチラシ参照）

<質疑応答>

特になし。

## 【議題】

### 1 第5期都筑区地域福祉保健計画 区計画策定に向けて 資料3～6

(1) 『第5期都筑区地域福祉保健計画素案の区民意見募集結果について』（説明）

資料3～6に基づき、事務局より説明。

(2) 意見交換

意見交換シートを活用。

## ▶計画の推進主体の表現について(意見交換テーマ①)

(事務局)

取組の主体を「区役所・区社協・地域ケアプラザ」と記載していたが、主体が分かりにくいという意見が多くあった。計画は地域の皆様と一緒に進めていくものであるため、文言を修正予定。

(進行)

地区別計画は地域の皆様が中心になって推進するため、対比して表現されることが横浜市では多いが、都筑区は地区別計画が別冊になっているため違和感があった可能性もある。

(委員)

地域でも推進していくことを考えると、地域との連携を取っていくことで取組がかみ合ってくるのではないかと。

(事務局)

本冊子に地区別計画との関連性を記載しているが、さらに分かりやすい説明を追加する。また、概要版では触れていないため、追加できると良い。

(委員)

「地域の皆さんと一緒に取り組む」という文言が入って良くなった。

(委員)

「地域の皆さんと一緒に」という文言が追加されたことで、分かりやすくなった。また、子育て世代にとって「地域の皆さん」を他人に感じている可能性がある。「あなたにできそうなことは？」という表現があることで、支援する側される側という認識ではなく自分事に捉えられる。福祉自体が困っている人のためのものと捉えている方が多い。

(委員)

「区役所・区社協・地域ケアプラザが中心となって地域の皆さんと一緒に取り組む」というように、推進する主体が明確に表現されていると分かりやすいのではないかと。

(委員)

素案への意見募集で集まった意見が様々であった。一人ひとりが違う、考えていることや価値観も異なる。地域福祉保健計画は、すべての人を包括する計画でなければならないと考える。主体について、「区役所・区社協・地域ケアプラザが関係する全ての皆さんと」のように、区民だけではなく在勤の方なども含めた、計画に関わる全ての人達のニュアンスが伝わると良い。計画推進には都筑区の総合力が問われているのではないかと。関わる全ての人々のつながりが生まれて、見える化されないといけない。誰もが安心して話ができる場所があることを伝えていく必要があるのではないかと。

(事務局)

主体の表現は素案作成段階から悩んでいた部分であった。素案作成途中では、「地域の皆さんと区役所・区社協・地域ケアプラザが取り組むこと」としていたが伝わりにくいのではと変更していた経過があった。区民意見募集や委員の皆様からいただいた意見をふまえて、あらゆる人と一緒に取り組んでいくことを表現できる内容に変更していく。

▶私たちの目指すまちのイラストについて（意見交換テーマ②）

(事務局)

資料6のP.1～2にイラストを追加した。

20場面のイラストを掲載している。番号は便宜上付けている。気になる点や改善点を伺いたい。

(委員)

全体的に網羅されていると感じる。追加が可能であれば、都筑区はボランティアが充実している。1と9は住民が見守っているが、腕章や襷を付けているボランティアを追加してはどうか。9も訪問する人が腕章等を付けていると良いのではないか。また、(意見募集では男性が訪問できる社会が必要だとの意見があったが) イラストについては、必ず男性が訪問する姿でなくても良いと考える。

(委員)

18歳未満の方からの意見もあったため、若い方ができることをイメージできるようなイラストを入れてもらえると良い。

(委員)

同じ意見。小中学校が学校に行きながらボランティアできることを入れても良いのではないか。また、図書館が充実しているため、イラストにあると良い。

(委員)

中高生のイラストも入れてもらえると良い。例えば、災害時に地域で活躍できるのは中学生と考えているため、10に追加するのはどうか。また、部活動に地域ぐるみで関わることごとくが話題になっているため、イラストに入っていると有難い。

(委員)

中高生が地区のお祭りやイベントに協力してくれているため、イラストで表現されていると良い。先生も働き方改革で休日出勤が難しくなっているが、地域で責任を持って子どもを見守っていく環境を整えれば子ども達も参加しやすくなると思う。

(委員)

1は犬の散歩をしているが、自分の地区では散歩しながら見守りする活動をしている。見守りパトロールしていることを表現してもらえると良い。

(委員)

3は外国人が見ているだけでなく、一緒に盆踊りをしている姿の方が良い。また、若い親子が参加している様子があっても良い。

(委員)

未病の方の健康相談があるべきだと考えている。お祭りの時等に健康相談を受けている医師や歯科医師のイラストが入ると良い。また、防災訓練にも医師が関わっているため医療関係者が入っていると良い。

(委員)

どこかに外国人の姿をイラストに入れられないか。昨今外国人について、社会の中でデリケートな問題が出てきているが、都筑区では地域貢献される方も多くいる。図書館で外国語の絵本を読む、読み聞かせを行う姿などのイラストがあっても良い。また、例えばパーテーションなどがある場面で、安心して話ができる場所があることを表現してはどうか。

(委員)

5に父親の存在を入れてはどうか。また、妊娠期からの切れ目のない支援にも取り組んでいるため、公園で散歩している妊婦などが入ると良い。また、例えば9のイラスト等にガイドヘルパーであると分かるイラストがあると良いのでは。これから目指していくにあたり、企業が地域に参加している様子を表現できると良い。

(委員)

出た意見を絵にするのは難しい。学校に地域の情報を伝えるスペースを作り、子どもたちからアイデアが出せると良いのではないかと。都筑区は若い世代が多いが、子どもが減ってきているため、子どもの発想を生かしたい。

(委員)

6に「都筑の農業を通じて地域のつながりが広がっていくといいね」というような文言を入れてはどうか。障害分野だけでなく、地域食堂の取組や食育に繋がるケースもある。

4はみんなが地域社会に参加することを表現されていると感じた。

5、11について、“あつまれ都筑のニューフェイス”という取組を行っているため、転入者の受け入れについて言葉で表現できると良い。

(進行)

お気づきの点があれば事務局へ。

(事務局)

イラストに関するご意見は12月上旬までにお知らせいただきたい。場面は細かく指定してイラストレーターへ依頼しているため、ブラッシュアップしていきたい。

### ▶その他、意見募集全体を通して気になる箇所（意見交換テーマ③）

（委員）

キッズクラブの時間について悩んでいる意見が出ていたが、学校の問題は本計画で対応するものなのか。

（事務局）

意見の中には、計画に関する内容と限定的な困りごとが含まれている。担当課と連携して課題を検討していく。

（委員）

都筑区は商店街連合会等が子ども向けのイベントを企画し、都筑区を盛り上げており、子どもたちも楽しんで参加している。ショッピングモールがたくさんあるが、まちの商店にも目を向けてほしいという意見も出ていた。

（委員）

地区では「みんなで見守り」に取り組んでいる。PTAや子ども会の継続が難しくなっているため、旗振りができなくても、外に出たり、庭の剪定をしながら子どもたちを見守る取組。剪定しながら見守っているイラストがあると良い。

また、企業の参加について、善意銀行等の協力を依頼できると良い。

（委員）

地域性はあるが、根本的に隣近所で顔の見える関係を作ることが重要。そういった関係が作られることによって、計画が推進していくと考える。賃貸住宅が増えて転出入も多いため、あいさつカードの取組を行ったが交換があまりされていない状況。自治会加入率向上のためにも取り組んでいきたい。

（委員）

子どもたちが自分たちにできることを考えていくため、教職員や保護者が理解を深めることがまずは必要。また、区役所・区社協・地域ケアプラザが旗を振って、在勤・在学・在住の都筑区に関わるあらゆる人が計画を自分の中で大事に持って、毎日の生活を送っていくことが大切。小学生もすぐに都筑区を支えていく立場に育っていく。学校としては根っこを支えていく。

（委員）

明日、自分の地区で懇談会を開催予定であり、近隣の小学校5年生に地域への関わりについて発表してもらう予定。地域で子どもの意見を聞いていくことや交流の機会が必要。

また、地域活動で取組は行っているが、参加するきっかけがない方が多い。様々な人に参加してもらいたいが、周知に難しさを感じる。子どもから高齢者まで集える場所があると良い。

## 【講評】

(進行)

近所づきあいが重要という意見が出たが、第5期市計画の巻末資料に挨拶や立ち話をする薄い関係が増えているというデータが掲載されている。近所づきあいの基盤はしっかりしているが、助け合いの取組や文化に繋がっていない可能性がある。また、第5期市計画では「いざという時には隣近所の人の方が自分を助けてくれると思うか」という割合が下がっているデータを示している。地域の基盤はあるが、地域力や助け合いにまで至っていない結果の現れだと思う。地域福祉保健計画では基盤を活かして、助け合いの文化や仕組みを目指している。単位自治会町内会の活動を進めていくことが重要。

また、活動への参加者が少ないという課題について、とあるアンケートでは「機会があれば参加したい」という回答が多いが、参加する方は少ない傾向にある。どのような条件であれば参加するか細かく調査したところ、運営に関わることへの懸念や初めての人にとっては入りにくい等の意見があった。地域ケアプラザや区社協等の専門機関含め第三者視点でのアイデア出し等の支援が必要だと思う。基盤の近所づきあいをどのように開花させていくか。次年度以降、第5期計画の推進をしてほしい。

## 【事務連絡】

- ・意見シートは事務局へ提出。
- ・計画の冊子は完成次第、委員の皆様へ送付する。
- ・横浜市地域福祉保健計画のキャラクター「ちふくちゃん」ストラップ配布。

## 【閉会】

(委員)

推進母体やイラスト等について意見が出たが、今後計画に反映されていくと思う。後日でも気づいたことがあれば事務局へ伝えていただきたい。

## 【次回推進委員会の予定】

(事務局)

開催時期が決まり次第、あらためてご案内予定。